

現在のレベル判断

本県のレベル判断基準

下記に示した指標、保健医療の負荷の状況及び社会経済活動の状況に関する事象を勘案して**総合的に判断**する。

レベル		指標		事象
1	感染 小康期	病床使用率	30%未満	【保健医療の負荷の状況】 ・ 外来医療・入院医療ともに負荷は小さい。
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	1,100人 未満	
2	感染 拡大期	病床使用率	30%	【保健医療の負荷の状況】 ・ 診療・検査医療機関（発熱外来）の患者数が急増し負荷が高まり始める。 ・ 救急外来の受診者数が増加。 ・ 医療従事者の欠勤者数が上昇傾向。 【社会経済活動の状況】 ・ 職場の欠勤者が増加し、業務継続に支障を生じる事業者が出始める。
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	1,100人	
3	医療負荷 増大期	病床使用率	50%	【保健医療の負荷の状況】 ・ 発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到、重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生。 ・ 救急搬送困難事案が急増。 （県全体で7～8件/週、圏域ごとに2～3件/週） ・ 医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる。 【社会経済活動の状況】 ・ 職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生。
		重症者数	10人	
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	2,800人	
4	医療機能 不全期	病床使用率	80%	【保健医療の負荷の状況】 ・ 膨大な数の感染者に発熱外来や救急外来で対応しきれなくなり、一般外来にも患者が殺到。 ・ 救急車を要請されても対応できない状況が発生。通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態。 ・ 多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療がひっ迫。 ・ 入院できずに自宅療養中・施設内療養中に死亡する者が多数発生。 【社会経済活動の状況】 ・ 職場の欠勤者数が膨大になり社会インフラの維持に支障が生じる。
		重症者数	25人	
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	5,600人	

レベル判断基準における現在の状況

1 指標の状況

	12/1	12/8	12/15	12/22
病床使用率	41.9%	41.9%	47.2%	50.2%
重症者数	1	2	4	5
1日あたり新規陽性者数 (1週間平均)	2290.6	2226.3	2797.1	3134.6

2 事象の状況

(1) 保健医療の負荷の状況

事象(レベル3)	判断要素	2週前	1週前	直近 集計時	第7波 最大値
発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到、重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生	医療機関における1日あたり検査件数(1週間平均)	12/1	12/8	12/15	8/22
		3,485	3,534	3,961	5,315
救急搬送困難事案が急増 ・県全体7～8件/週 ・圏域毎2～3件/週	県内消防本部における搬送困難事案件数(週計)	12/4	12/11	12/18	8/21
		全県 11 岐阜 3 西濃 0 中濃 3 東濃 5 飛騨 0	全県 25 岐阜 4 西濃 0 中濃 4 東濃 17 飛騨 0	全県 24 岐阜 9 西濃 1 中濃 1 東濃 13 飛騨 0	全県 36 岐阜 13 西濃 1 中濃 4 東濃 18 飛騨 0
医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる	入院制限を行っている医療機関数	12/8	12/15	12/22	8/21
		12	14	17	26

(2) 社会経済活動の状況

事象(レベル3)	判断要素	状況(12/14～12/16聞き取り)
職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生	業務継続が困難な事業者の発生状況(関係団体への聞き取り結果)	<p>【県内商工関連団体・機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の中には、本人や家族の感染により臨時休業している店舗がポツポツある。 ・コロナの影響により休業等をしている事業者はそれほど多くないという印象。 ・第7波ピーク時は、飲食・宿泊業で人のやりくりができず大変との声を聞いていたが、直近は、人員の確保ができず休業した案件が、最近1件あったと聞いた。 <p>【県内金融関連団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行内に感染者が発生しても店舗を閉鎖する対応はしておらず、業務継続が困難な状況なし。 <p>【県内観光関連団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模宿泊施設等での影響が多少あるものの、全体として大きな影響・混乱なし。 <p><主な事例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高山や奥飛騨地域の小規模宿泊施設(個人経営)で、従業員(家族)の感染により数日休館。 ・高山市内の宿泊施設内において、従業員の感染により、食事部門(レストラン)を休止し、宿泊部門に従業員を集約。